

02

広島弁護士会広報誌
第2号
2019

つるてんびん



広島弁護士会

なやんだら 相談しんさい 頼りんさい



「ピッチの上は孤独。自分との戦いです」

森崎浩司さん

巻頭インタビュー LAWYER MEETS...

森崎 浩司氏 サンフレッチェ広島アンバサダー

特集

弁護士のかばん

活動レポート

広島弁護士会の西日本豪雨災害における対応

こどもの日記念シンポジウム 2019

「発達障害について考える

～あなたのフツウ、私のフツウ～

法律相談コラム

遺産分割前に預金を払い出せる？

02

広島弁護士会広報誌
つるてんびん



Index

- 02 巻頭インタビュー
LAWYER MEETS…
森崎浩司氏 (サンフレッチェ広島アンバサダー)
- 07 活動レポート
**広島弁護士会の
西日本豪雨災害における対応**
- 08 第1回 **高校生模擬裁判選手権 in 広島**
- 09 こどもの日記念シンポジウム2019
**「発達障害について考える
～あなたのフツウ、私のフツウ～」**
- 11 **海洋プラスチック問題勉強会**
- 12 **左利きの会**
- 13 特集
弁護士のかばん
 - 15 ある弁護士の失敗談
 - 16 法律相談コラム
遺産分割前に預金を払い出せる？
 - 17 広島弁護士会のサークル紹介
 - 1 野球部
 - 2 サッカー部
 - 18 オタクシリーズ
 - 1 釣人「釣人(弁護士)の一日」
 - 2 鉄道マニア「時刻表の楽しみ方」
 - 19 法律相談センターのご案内
編集後記

ご挨拶



広島弁護士会会長

今井 光

「つるてんびん」というのは変わった名称だと思われるかもしれませんが。それは「つる」と「てんびん」の組み合わせで作られている広島弁護士会のロゴマークに由来しています。この冊子にも描かれていますので探してみてください。折鶴は平和の象徴、天秤は公正と平等の象徴です。

ところで、弁護士バッジにも、ひまわりの花の中に天秤が描かれていることをご存知でしょうか？ひまわりは自由と正義を、天秤は公正と平等を追い求めることを表しています。弁護士はさまざまな紛争を取り扱いますが、とりわけバランス感覚を持って取り組むことが必要とされているのです。

この「つるてんびん」とロゴマークを通じて、広島弁護士会のひまわりが皆さんのために咲いていることを知っていただければ幸いです。

性格は変わらないけど、
考え方は変えられるんです。
自分なりの方法で
オンとオフの切り替えをすることを
意識していました。

巻頭インタビュー LAWYER MEETS…

もりさき こうじ
森崎 浩司



双子の兄・和幸とともに、地元出身のスター「森崎ツインズ」として、広島一筋17年。
3度のリーグ制覇にも貢献した森崎浩司さん。アンバサダーとして忙しく飛び回る現在の活動や弁護士のイメージなど、
いろんなお話をうかがいました。選手時代のイメージとは違う意外な表情が飛び出す森崎さんのトークをお楽しみください。

いろんな人に会う機会が増えたとし、
思いもよらないことにもチャレンジできる。

弁護士S こんにちは。私は広島弁護士会サッカー部のキャプテンをしています。2年前に福山で開催したサッカーイベントでもお世話になりました。

森崎 全国の弁護士さんが集まる大会ですよ。覚えてますよ。

弁護士O 私はあまりサッカーのことは詳しくないのですが、今日は森崎さんのお話をいろいろ聞かせていただきたいと思います！

森崎 尋問みたいでちょっと怖いですが(笑)、お手柔らかにお願いします。

弁護士O 最初に、森崎さんがサッカーを始めたきっかけは何ですか？

森崎 僕が小学1年生の時、6年生の先輩に「サッカーやってみないか」と誘われて、2年生から始めました。まだJリーグのない時代でしたし、当時はプロを目指していたわけじゃないんです。

弁護士O きっと小さい頃から運動神経が良かったんでしょうね。

森崎 体が大きくて、足も速かったので、運動会のリレーを見て先輩が声を掛けてくれたみたいです。僕もサッカーや野球などスポーツ全般が大好きだったので、迷いはなかったですね。

弁護士S 地元出身のスター選手としてJリーグで活躍された後、2017年からサンフレッチェ広島のアンバサダーに就任されましたが、現在はどのような活動をされているのですか？

森崎 多くの人にサンフレッチェ広島を知っていただくためのPR活動として、テレビ、ラジオ、イベント、サッカー教室、解説など、幅広く仕事をさせていただいています。

弁護士S サンフレッチェ広島では初のアンバサダーですよ？

森崎 そうです。僕が引退するときに、「アンバサダーの役をつくるからやってみないか？」とクラブから打診されて、Jリーグのアンバサダーは、そのクラブ一筋数十年というレジェンドばかりで、誰でもできるわけではないと思い、やらせていただくことにしました。

弁護士O まさに森崎さんのためにつくられたようなポストですよ。

森崎 アンバサダーになったお陰で、いろんな人に会う機会が増えましたし、思いもよらないことにもチャレンジできます。指導者になるよりも自分に負っていたように思いますね。

弁護士S クラブの広報部との役割の違いは何ですか？

森崎 僕も所属は広報部なのですが、その中でもアンバサダーは対外的な活動が中心で、県内外問わずいろんな場所に顔を出させてもらっています。

弁護士S 昨年引退された兄のカズさん(森崎和幸)はCRM(クラブ・リレーションズ・マネージャー)になりましたが、そちらはどのような役割なのですか？

森崎 CRMのカズは、主にスポンサー廻りなど営業的な役割を担っています。テレビなど表に出ることより、裏方の仕事がしたいという本人の希望があったので、表に出るのはもっぱら僕の務めです！

弁護士O アンバサダーとしてチャレンジしてみたいことはありますか？

森崎 弁護士になりたいです！(一同笑)

弁護士S ぜひ広島弁護士会のアンバサダーになってください！

森崎 前向きに検討させていただきます(笑)。

弁護士S 最近は異業種とのコラボも積極的に取り組まれていますよね。

ことは、やっぱり「チームワーク」が良いんだろうなと、僕らサッカー好きの仲間とは話していますね。

森崎 ありがたいですね。ところで、広島弁護士会のチームワークはどうですか？

弁護士O 普段は弁護士同士と一緒に仕事をすることはないのですが、意外とみんな仲が良く、イベントなどでの団結力は本当にすごいですよ！

弁護士S 森崎さんはサンフレッチェ広島の魅力はどこだと思われますか？

森崎 「家族」ですね。カーブと同じで、広島のスポーツチームってファミリー感が非常に強い。絆の深さを感じます。

弁護士O カーブでも「家族」というフレーズをよく聞きますが、具体的には「悩みを聞いてあげる」「何でも話せる」というイメージですか？

森崎 そうですね。普通、新入団の選手は慣れるのに時間がかかるのですが、そういう選手がトレーニングしやすい環境だったり、馴染みやすい雰囲気だったりをつくってあげられる。そこが広島の魅力でしょうね。

弁護士O 一人で練習をしていたら、「いっしょにやろうぜ！」と声を掛けてあげたり？

森崎 もちろん、そうですね。誰かがというより、チームとしての強さがサンフレッチェ広島にも、カーブにもあると思います。

弁護士S サッカーは移籍が盛んですからね。かつては、佐藤寿人選手、千葉選手、今なら青山選手、清水航平選手…と、率先して新しい人を受け入れる雰囲気をつくる選手が引き継がれているんでしょうね。

森崎 ピッチで引っ張る人がいれば、ピッチ外でサポートする先輩もいる。選手は毎年入れ替わりますが、広島に来たらまず最初に「チームがひとつになって戦う意識」を徹底的に叩き込まれる。その信頼関係は強いですし、自然とそういう流れになっているように感じます。

「今は神様が与えてくれた試練だ」と前向きに考える。

弁護士O 現役時代に悩みを抱えている時期とかはありましたか？

森崎 選手のときはいつも悩んでいましたよ。

弁護士O そうなんですか！？そういったときの相談相手は先輩？それとも、兄のカズさんですか？

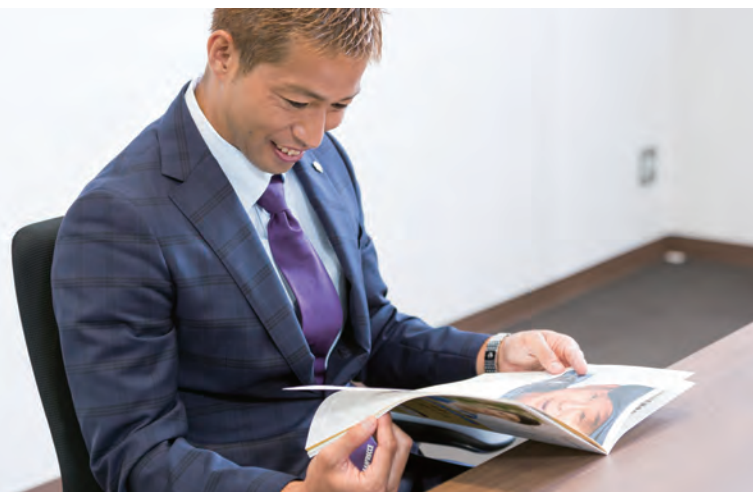
森崎 いちばん多かったのは、やっぱりカズですね。血のつながった兄弟なので相談しやすいし、双子ならではの、考えることが似ているんです。選手以外だと、森保監督にもよく相談に乗ってもらいました。

弁護士O 相談しやすい監督だったんですね。選手と監督の良い関係というのは私たちにも伝わってくるし、チームの成績にも関係してくるんでしょうね。

森崎 選手と近い距離におられる監督だったので、コミュニケーションを取りやすかったです。

弁護士O カズさんに相談したときは、喝を入れる感じ？それとも、優しく聞いてくれるタイプですか？

森崎 喝を入れるようなタイプではないですね。選手たちも、相談相手はカズで、遊び相手は僕と使い分けていますよ。僕に相談に来る選手はいないです…。



森崎 興味がない人にもサッカーやサンフレッチェ広島を知ってほしい！という気持ちが強いので、サッカー以外のイベントにも数多く挑戦してみたいです。今日のように弁護士の方と話す機会も、普通はそんなにないのがありがたいです。

弁護士O 私たちこそ、サッカー選手と話せる機会は滅多にないですよ！この広島弁護士会館に来られたのは初めてですか？

森崎 はい。昨日RCCに向かう途中でこの建物を見かけて、「あ！ここにあるんだ」と思わず声が出ました。

弁護士S 私たちもまだアピール不足ですね。ぜひ気軽に立ち寄っていただきたいです。

森崎 今度は相談に来たいと思います！

サンフレッチェ広島の魅力は、「家族」。

森崎 皆さんから見て、今のサンフレッチェ広島はどのような印象ですか？

弁護士S メジャー選手がいなくても関わらず、この順位にいられるという



森崎 浩司

(もりさき こうじ)

1981年5月9日生まれ。広島県広島市出身。

サンフレッチェ広島F.C.ユースを経て、2000年サンフレッチェ広島に入団。2001年ワールドユースアルゼンチン大会、2004年アテネ五輪に日本代表として出場。精度の高い左足のキックが特長の、得点感覚に優れたミッドフィールダー。2015年7月にJ1通算250試合出場を果たした。チーム3度の優勝に貢献し、2016年シーズンをもって現役引退。現在、サンフレッチェ広島の初代アンバサダーとしてクラブの広報活動に尽力している。

弁護士O カズさんに慰めてもらって、元気になったら浩司さんと遊ぶ(笑)。

森崎 そうですね。双子でもまったく性格が違う。だから面白いんですけど。

弁護士S 例えば、ケガや不調ではないのに、他の選手が試合に出て自分は控えに回るといふときにストレスを感じたり、大事な試合の前にプレッシャーに襲われたり、そういうときはプロとしてどのように対処されていたのですか？

森崎 経験や年齢を重ねるうちに、そういうことが起こるのは想定内と考えて、ストレスと上手く付き合っていくようになりました。入団した頃、カズが先にプロデビューして、レギュラーに抜擢されたりして、当時はすごく落ち込みました。そういう経験をするうちに、自分の中で切り替えが大事だと感じて、「今は神様が与えてくれた試練だ」と前向きに考えるようにしてきました。

弁護士O スポーツもそうですが、何事も切り替えというのは大事ですよね。

森崎 性格は変わらないけど、考え方は変えられるんです。自分なりの方法でオンとオフの切り替えをしっかりとすることを意識して、家族との時間を大切にするなど、プライベートにサッカーを持ち込まないようにしていましたね。

弁護士O 最終的には自分自身で乗り越えなければいけないんですね。

森崎 チームで戦ってはいますが、ピッチでは意外と孤独。自分との戦いです。90分戦う中で必ずキツイ時間帯があって、そこで仲間に背中を押してもらったり、サポーターの声援で足が動いたりするんですが、最終的には自分自身との戦いになります。そうなったら、自分を信じてやるしかありません。

弁護士O 意外ですね。サッカーはチームプレーというイメージでした。

森崎 選手同士で競い合いながらレベルアップもしなくては行けない。仲間でありライバルでもあるので、ピッチ上では厳しくやり合いながら自分も成長できたし、ピッチから離れてしまえば仲のいい先輩と後輩になります。

弁護士S プロとしていちばん重要なのは、フィジカル、テクニック、メンタルのうちどれだと思いますか。

森崎 今、考えれば、メンタルがいちばんでした。壁にぶち当たって落ち込んで、切り替えて次に向かわないといけない。そういう強いメンタルは大事です。

弁護士O 「切り替え」という言葉をサラリとおっしゃいましたが、私もクヨクヨするタイプなので、どのようにして切り替えたらいいのか、何かコツがあればぜひ知りたいです。

森崎 どん底まで落ちてしまえば、もう上がるだけなので、その日だけとはことん落ち込んで、次の日はパッと切り替える。落ち込むことは決して悪いことではないし、誰でもあることなので、引きずらないことが大事。お酒でもスポーツでも何でもいいので、違うことを考える時間に使って切り替えるようにしていましたね。

弁護士S 引退してからチームメイトを見ていて、メンタルの強い人、弱い人というのは分かりますか？



森崎 メンタルをいちばん見ているかもしれません。今日はちょっと引きずっているとか、最近、自信持ってやっているとか。テクニックよりメンタルの変化が目につきますね。

弁護士S メンタルの状態がパフォーマンスに影響していますか？

森崎 もちろん。すごく影響しますね。

弁護士O サッカーってフィジカルが大事なのかと思っていました。

森崎 当然、フィジカルもテクニックも必要ですが、結局あきらめてしまえばプロの世界では生きていけない。気持ち的に継続できる人が長く活躍できるという世界です。

弁護士O プロとしてモチベーションを維持する方法は？

森崎 よく聞かれるんですけど、自然に維持されるものじゃないですか？自分がこうなりたいという目標があれば、自然とモチベーションは上がるし、家族ができたなら生活もかかってくる。最後は自分自身のためになりますけどね。

弁護士O 森崎さんはどのように目標を設定されていましたか？

森崎 大きな目標と同時に、がんばれば達成できそうな目標も立てるんです。最初から高い目標にすると、クリアできなかったときにモチベーションが下がってしまうので、越えられそうな目標を達成するたびに自分を褒めてあげる。そうやって、1日1日コツコツ積み上げていくようにしていました。

弁護士O 今、アンバサダーとしてのモチベーションとなっているのは？

森崎 いろんな方と会ってお話ができることですね。サッカー業界だけだったら狭い世界ですし、少し離れた分野でいろんなことにチャレンジしたいという思いが、今のモチベーションにつながっています。

弁護士O 弁護士会もまったく違う世界ですね！最近SNSにも力を入れていますが、きっかけは何だったのですか？

森崎 最初はクラブから勧められて始めたのですが、今では趣味のようになっています。コメントをもらったり、反応があるところが面白くて、楽しみながらアップしています。



弁護士O 広島弁護士会もツイッターがあるのですが、フォロワーが500人もいないんですよ。

森崎 フォローしますよ！僕もツイッターから始めて、今はインスタの方が中心になっていますね。

弁護士O 「広島弁護士会館に行ってきました！」とインスタに上げてもらえるとうれしいです！どんな情報を発信すれば、みんなに見てもらえるのでしょうか？

森崎 サッカーならファンが知りたいがっている選手のプライベートをできるだけ発信するようにしています。広島弁護士会も、弁護士さんの意外な素顔やイベントでの様子を発信したら、親近感が湧くんじゃないでしょうか。

サッカーを通して子どもたちに元気を届けたい。

弁護士O 私が所属する広島弁護士会の災害対策委員会では、去年の西日本豪雨の後、出張相談などのイベントを行ってきました。森崎さんも自主的にボランティア活動をされていましたね。

森崎 地元の矢野地区が被災したというのがボランティア参加のきっかけになりました。東日本大震災や熊本地震もニュースを通じてしか見ていなかったし、今までボランティア活動をしたことがなかったのですが、今回は自分で足を運んで被災地の状況を目の当たりにして、「何かしないとイケない」という使命感が自然と出てきました。

弁護士S 矢野地区は呉市や小屋浦地区に比べて報道は少なかったけど、浩司さんがボランティア活動をされてメディアで取り上げられるようになりました。情報発信も積極的にされていましたね。

森崎 最初は母校の矢野小学校で土砂のかき出し作業をしました。そういう活動もすごく大事ですが、元リーガーという自分の立場を考えると、発信することもできるのかなと思い、ボランティア状況や不足している物資をSNSで伝えることで、少しでも協力者が増えれば、それも支援につながるのではないかと考えました。

弁護士O 発信することの影響力や拡散性も大きいですし、森崎さんが被災地に来てくれるだけで子どもたちが元気になりますよね。

森崎 少しでも笑顔になってもらえればうれしい！それが自分の役割だと思っています。

弁護士S サッカー選手の皆さんはボランティアへの意識が高いですね。何かバックグラウンドはあるのですか？

森崎 東日本震災のときに鹿島や仙台の選手たちが動いたことで、サッカー界全体に支援の輪が広がったように感じています。今回も現役選手から「何を送ってほしい？」と連絡をもらいましたし、実際に水や物資をたくさん支援してくれました。選手はファンに支えられているという思いが強いし、シーズン中は足を運べないので、選手なりに考えてサポートしてくれるんだと思います。

弁護士O 実際に被災地で活動や、情報を発信された経験のある森崎さんに、災害対策のシンポジウムに参加いただけるとうれしいのですが…。

森崎 まずは広島弁護士会公式アンバサダーの名刺をつくっていただければ！

弁護士O すごくいいですね！西日本豪雨災害から1年以上経ちましたが、被災された方へ今、伝えたいメッセージはありますか？

森崎 被災から1年後の7月に矢野小を訪れたのですが、未だに行方不明の方もいると聞いて胸が痛みました。学校のグラウンドが使えるようになったり、確実に復興は進んでいますが、まだ時間がかかる場所もあるし、仮設住宅で暮らしている人たちもいる。だからこそ継続して支援することは絶対に必要。僕たちもサッカーを通して被災者の皆さんに元気を届けたいし、支援できることをつづけていきたいですね。

寄り添ってくれる心強い人が広島にいる。

弁護士O 今まで接点がなかったと思いますが、弁護士に対してどのようなイメージをお持ちでしたか？

森崎 カッコイイですよ！なれるなら僕もなりたいたいですもん。単純に、絶対みんな賢いんだろうとか、弁が立つんだろうというイメージですし、弁護士バッジを見るとうらやましい。僕のバッジと交換して写真を撮りましょうよ！

弁護士O いえいえ、ほとんどの人はサッカー選手の方になりたいですよ！！子どもに人気の職業ナンバーワンですもん。

森崎 ありがとうございます。僕から質問なんですけど、最近はどうのような相談が多いんですか？

弁護士S 騒音問題などの近隣トラブルや、遺産相続など金銭的な問題ですね。最近の変わったところでは、部活で厳しいボールを先輩に投げられたのが「いじめ」だと親が訴えて来られたのだが、どうしたらいいか。と学校から相談を受けたりしました。

森崎 時代によって少し変わってくるのかもしれませんがね。終活の相談も増えていますか？

弁護士S そうですね。終活は本来、弁護士が推進すべき問題なのですが、他の業界が率先して取り組んでいるというのが現状です。私たちは、婚約、結婚、出産、そして亡くなるまでのライフイベントすべてに関ってくる職業



なんですよ。

森崎 そうですね。終活の話でいうと、遺言書ってやっぱり必要なんですか？

弁護士O 遺言は書いておいた方がいいです。遺産問題にそれぞれの配偶者が関わることで、仲の良い兄弟でも関係がこじれるパターンも少なくありません。私の事務所にも、「遺言を書きたい」というおばあちゃんが来られて、実際にいっしょに書くこともありますよ。

森崎 そのような相談を受ける窓口って、どこかにあるのですか？

弁護士O 紙屋町のそごう新館6階に「広島弁護士会 紙屋町法律相談センター」があるんですよ。

森崎 知りませんでした！

弁護士O 紙屋町におでかけの際はぜひお立ち寄りくださいね！よく「こんなことで相談してもいいの？」と言われるますが、どんな悩みでも大丈夫です。

森崎 私たちからすると、弁護士に相談するのは敷居が高いですね。

弁護士S 気軽に相談してもらえるように様々なイベントや広報をしていて、広報誌「つるてんびん」もその一環です。森崎さんから見ると、何をええれば敷居が下がると感じられますか？

森崎 サッカー選手も、ファンとのふれあいが上手な人もいれば、接しにくいタイプもいる。アンバサダーになって感じたのが、イベントではファンと選手がすごく近い距離になれる気がします。

弁護士S 皆さんに広島弁護士会館に来ていただけるよう、一般市民向けのセミナーや無料相談会などを行ったり、ひろしまフードフェスティバルのときに弁護士会館の前で風船を配ったり、カーブとのコラボグッズをつくっているんですよ。

森崎 来てもらうよりも、こちらからいろんな場所に向かうほうが、人に会えるチャンスが増えますよね。おもしろいグッズもつくられているので、たくさんの人に会って、まず知ってもらうことが、サンフレッチェと同じで大事ではないでしょうか。

弁護士S 中央公園に新サッカースタジアムができれば、広島弁護士会とご近所になりますね！

森崎 スタジアムの完成は5年後の予定ですが、近所になるのをきっかけにいっしょに何か楽しいことができればいいですね。

弁護士S サンフレッチェ広島とのコラボが実現できれば、きっと広島弁護

士会ファンも増えるでしょうね。

森崎 試合の日はスタジアム前にグルメのブースが出るので、広島弁護士会も無料相談所を出展して、まずは弁護士を身近に感じてもらうことから始めてはどうでしょう。僕も現役時代はメディアにあまり出なかつたので、近づきにくいイメージだったそうですが、ふれあいの機会が増えるとイメージも変わるし、親しみを感じていただければ、皆さん心を開いてくれると思いますよ。

弁護士S とともに広島で活動する者同士、力を合わせていけるといいですね。私たちはもっと地域に根差した弁護士会を目指しているので、地域で活動されている人たちと連携していきたいです。

森崎 広島はスポーツが盛んな街なので、たくさんの人にサッカーを観に来てほしいですね。僕自身も広島を「紫」に染めたい！という思いが強いので、多くの人に会いに行つてサンフレッチェ広島をPRしていきたいです。応援よろしくお願いします！

弁護士S アンバサダーを見習って、広島弁護士会も活発に広報していきます！

森崎 お二人と初めてお話をして、敷居が高いと思っていた弁護士の方にすごく親近感がわきました。このご時世ですので、悩みを抱えている方は多いだろうし、つらい思いをしている人がたくさんいるはず。でも、寄り添ってくれる心強い人が広島にいたんだ、ということをお忘れず、何かあれば弁護士の方に相談に行けるようになればいいですね。

弁護士S 広島弁護士会も皆さんの「家族」のような存在となって、しっかり寄り添っていきます。今日は楽しいお時間をありがとうございました。

森崎 お互い頑張りましょう！ありがとうございました。

サンフレッチェ広島 森崎 浩司アンバサダー 直筆サインボールプレゼント！

抽選で1名様

応募締切 2019年12月31日(火)

当選発表 賞品の発送をもって代えさせていただきます。

応募方法 市販のはがきに必要事項(氏名・住所・電話番号・つるてんびんの感想)を記入の上、下記宛先へお送りください。

〒730-0012 広島県広島市中区上八丁堀2-73
広島弁護士会「つるてんびん」編集部

